

# えぞふくろう

株式会社 残間金属工業 ニューズレター 第6号 平成27年5月1日発行

## 奮励努力

代表取締役 残間順雄



釧路の街も雪が融け、わくわくする日が続いています。  
皆様のおかげをもちまして株式会社 残間金属工業は新しい年度に入ることが出来ました。  
昨年は予想以上の工事に恵まれ、多くのお客様に助けをいただきながら、協力業社の皆様  
そして社員の踏ん張りで沢山のよろこびを受けました。  
1月には設計と人材育成をする新しい会社を立ち上げ、お客様に素晴らしい企画を提案する  
ことが未来へ向かって進んでいけることと思っています。  
新年度は弊社に2名、関連会社に1名 計3名のフレッシュな若者が入社しました。  
うれしいですね。  
楽しいですね。  
若い人が入ると会社の中が急に華やいだ感じになります。無限の可能性を持った若者に  
引の張られて社員全員が隠れすぎている潜在能力と培った経験とをプラスして  
ビジネスにそして社会貢献につなげていくことに期待します。  
当社の今年度の目標は安全第一を大前提として、大きな声でお客様に笑顔をお届けします。

## New Machine

昨今の鉄骨構造物は、高層化・長スパン化・重量化且つ  
複雑化した物件も多くなってきました。  
おかげさまで、当社もそういった案件を受注させて  
いただいております。  
良い品を納期にお届けし、お客様の希望にお応えすることを  
第一の目標として日々奮闘しています。  
その中でネックになっている工程が浮かんできました。  
最終工程の塗装製品ヤードの能力不足により  
流れが滞ることがあったのです。  
その能力不足を解消すべく導入されたのが  
“ホイスト式橋形クレーン”でした。  
クレーンスパン 16.7m, 最高高さ 12.8m  
揚程 10m, 揚重 4.8t仕様。



既設2.8tクレーン2台と  
連動させることにより、ヤード拡張と  
合わせて従来比1.5倍の作業効率と  
操作が容易になり作業員への負担も  
軽減され、生産性のアップが  
見込まれています。

良い品を短納期で提供するために  
New Machineはフル稼働中です。

(鉄骨工場次長 原大樹)



